

議会改革プロジェクトチーム(会議概要)

開催日	平成 23・9・7(水)	開催場所	議長応接室
開催時間	午後 2:00 ～ 午後 4:06		
メンバー	■リーダー 中島議員 ■サブリーダー 梅田議員 ※出席者「■」、欠席者「□」		
	■稲橋議員 □木原議員 ■福島議員 ■大石議員 ■堀江議員 ■清水議員		
事務局	■宮崎局長 ■江元次長 ■上ヶ島係長 ■佐々木係長 ■倉田主事		

内 容

1 前回の結論について

前回8月11日のまとめを事務局が読み上げて確認する。

2 会議概要について

前回までの4回分の会議概要を事務局で作成し、各プロジェクトメンバーが翌日9月8日(木)までに確認することとする。確認が済み次第ホームページでの公表を行っていくこととする。

3 議会改革プロジェクトチームの確認事項について

配付資料に沿って、議事の進め方などについて、次の内容を確認する。

- (1) 予算特別委員会の総括について (2) 一般質問と決算特別委員会の日程の入れ替えについて
- (3) 会派を構成しない議員の討論について (4) 決算特別委員会の質問の順番について
- (5) 決算特別委員会の資料請求方法について (6) 総括質疑を代表質問とするかについて
- (7) 総括質疑を行った議員と決算特別委員会委員について (8) 総括質疑と一般質問の関係について
- (9) 意見書調整のための協議会メンバーについて (10) 会派を構成しない議員の市長所信表明に対する質問について

4 議会のあり方懇談会の答申について

第1次答申、第2次答申、最終答申の検討項目について、フリーディスカッションを行う。主な内容は次のとおりです。

- (1) これからのプロジェクトを進めるにあたり、議会基本条例の制定が前提になるのではないか。
- (2) できることから、試行錯誤で進めていくことになるのではないか。
- (3) 議会改革に関する特別委員会の設置と議会報告会の開催は同時並行で進めていくべきではないか。
- (4) 行政よりもむしろ議会にこそ住民参加が必要であり、そのためのシステムの構築が必要ではないか。
- (5) 住民参加の機会をふやすことが必要ではないか。
- (6) 請願・陳情だけでなく議案等にも市民の意見を聞けるようにすべきではないか。これは、現行制度でもやることができる。
- (7) 議員同士の討議を重ね、議会全体としての政策立案能力を向上させるべきではないか。
- (8) 市民の代表としての調査研究能力の向上のため、政務調査費などの制度を検討すべきではないか。
- (9) 政務調査費について、使いにくく、使途基準を明確にするべきではないか。
- (10) 政務調査費については、全国都道府県議長会や東京都議会の基準を参考にしながら論点を整理して、検討していけばよいのではないか。

5 その他

- (1) たちかわ市民みらい会議からの要望書に対する回答について
配付資料のとおり、確認する。
- (2) 次回、議会改革プロジェクトチームの開催日について
10月26日(水)午後2時から議長応接室で行なうこととする。